

文献センター

1. 人口情報の処理に関する研究
2. 人口研究の動向に関する文献的研究
3. 図書・資料の収集および管理
4. 所の発行する資料の管理および配布
5. 資料の照会に対する連絡調整

昭和51年度実地調査の施行

本研究所においては、昭和51年度の実地調査として「地域人口移動に関する調査」を実施する予定であるが、その調査要綱を掲げると次のとおりである。

地域人口移動に関する調査要綱

調査の目的

近年、地域人口移動は新たな局面に入りつつあり、都市と農村の両面において種々の問題を発生させている。

本調査は人口移動の実態、動機、将来の移動に関する意識など、人口移動研究に必要なデータを収集し、ひいては諸施策の立案に役立つ基礎資料を得ることを目的とする。

調査の対象および客体

全国の普通世帯の世帯主を調査の対象とし、昭和51年厚生行政基礎調査が行なわれる国勢調査区を親標本として無作為抽出し、その地区内のすべての該当世帯（約7,000世帯）の世帯主を調査の客体とする。

調査の期日

昭和51年6月1日

調査の事項（すべて世帯主について）

1. 人口学的特性（男女、年齢など）
2. 出生、就学などライフ・サイクルの主要な時点の居住地
3. 現在の仕事の内容と種類
4. 大都市圏居住経験など
5. 1年前の居住地
6. 移転の理由および意識
7. 将来の移転の意志と理由
8. 希望する居住地
9. その他

調査の方法

この調査は、人口問題研究所が厚生省大臣官房統計情報部、都道府県および保健所の協力を得て、厚生行政基礎調査と同時に実施する。

調査は配票自計による。

結果の集計および公表

人口問題研究所が行う。